

2020（令和2）年度  
春学期 授業評価アンケート  
**報 告 書**

2020（令和2）年9月

横 浜 商 科 大 学  
I R 委 員 会  
学 務 本 部

# 目次

<b>I. 授業評価アンケートの概要</b>	<b>2</b>
1. 授業評価アンケートの目的	
2. 調査の方法	
3. 調査結果の活用	
<b>II. 2020 年度春学期調査の実施概要</b>	<b>2</b>
1. 調査の方法	
2. 調査結果	
<b>III. 質問項目別グラフ（学科学年別単純集計）</b>	<b>5</b>
<b>IV. 分析別グラフ</b>	<b>15</b>
1. 設問 11～16：ディプロマ・ポリシー（学科別）	
2. 設問 11～16：ディプロマ・ポリシー（科目プログラム別）	
3. 設問 11～16：ディプロマ・ポリシー（学年別）	
4. 設問 17：総合満足度別評価点分布（春学期）	
5. 設問 10：授業外学修時間別評価点分布（春学期）	
6. 設問 10：科目プログラム別 授業外学修時間別評価点分布（春学期）	

**分冊：設問 18 自由記述**

## I. 授業評価アンケートの概要

### 1. 授業評価アンケートの目的

授業評価アンケート（以下、調査）の目的は、本学における学士課程教育の現状と課題を把握し、教育改善の検討と実施を目指すことである。

### 2. 調査の方法

教育改善に資するデータを収集するため、以下の 8 項目について問う。

- (1) 授業の適切性を検討する（難易度：設問 2、学習分量：設問 3）
- (2) 教授法の適切性を検討する（配慮・工夫：設問 4、説明の方法：設問 5～6、教材：設問 7）
- (3) シラバスと実際の授業内容の整合性を検討する（設問 8）
- (4) 予習・復習に当てた平均時間を把握する（設問 9）
- (5) 授業で修得できたディプロマ・ポリシーに関する能力を把握する（設問 10～15）
- (6) 授業の満足度を把握する（設問 16）
- (7) 授業の改善点を質的に把握する（設問 17）
- (8) 授業を履修した動機を把握する（設問 1）

上述の設問を学生用履修支援システム「商大 web システム」のアンケートフォームに設定し、全授業、全履修生を対象に、調査を実施する。

### 3. 調査結果の活用

- (1) 授業満足度（設問 16）において、3.7 以下、あるいは個別の設問で 3.5 以下の評価があった教員には、「講義改善計画書」の立案と次学期以降からの授業改善の実施を求める。
- (2) 本学のディプロマ・ポリシーとして設定されている 6 つの能力・スキル（設問 10～15）の達成状況を点検・評価する。
- (3) 調査の一連の設問から得られたデータをもとに、FD、SD を企画するための一案とする。
- (4) その他、授業改善、学士課程教育の質保証に関連することに活用する。

## II. 2020 年度春学期調査の実施概要

### 1. 調査の方法

#### (1) 実施期間

2020 年 7 月 20 日～2020 年 8 月 16 日

#### (2) 対象科目

すべての開講科目（夏季休暇期間中の集中講義及び教職科目等を含む）

#### (3) 調査項目

上記 I.2 の調査の方法で述べた 17 の項目（設問）

### 学生による授業評価アンケート(2020年度 春学期)

本学の教育をさらに充実させるため、学生の視点からの「授業評価」アンケート調査を実施します。授業担当教員には集計結果のみが伝えられ、だれがどのように回答したかは分かりません。したがって、あなたの成績評価に影響することは全くありません。調査結果は個々の授業をより充実させること並びに本学カリキュラムのASSESSMENT(評価・改善)のために用いられるので、可能な範囲で回答するようにご協力をお願いいたします。

横浜国立大学  
学生総合支援部 教務課  
IR委員会

#### 回答方法

- ① 質問項目についておぼろげな回答を選択してください。また、下部にある自由記述欄には、指示に従って記入してください。
- ② 最後に画面右下の「回答」ボタンを押してください。

Q01: この授業の難易度は適切だ (必須)

1. とてもそう思う  2. そう思う  3. どちらともいえない  4. そう思わない  5. まったくそう思わない

Q02: この授業の有益の学習内容の分量は適切だ (必須)

1. とてもそう思う  2. そう思う  3. どちらともいえない  4. そう思わない  5. まったくそう思わない

Q03: 教員は学生の理解を深めるための配慮・工夫をしていた (必須)

1. とてもそう思う  2. そう思う  3. どちらともいえない  4. そう思わない  5. まったくそう思わない

Q04: 教員の話し方・説明の仕方は分かりやすかった (必須)

1. とてもそう思う  2. そう思う  3. どちらともいえない  4. そう思わない  5. まったくそう思わない

Q05: 教科書や配布資料等は理解の助けになった (必須)

1. とてもそう思う  2. そう思う  3. どちらともいえない  4. そう思わない  5. まったくそう思わない

Q06: シラバスと実際の授業内容はほぼ対応していた (必須)

0. シラバスは読まなかった  1. とてもそう思う  2. そう思う  3. どちらともいえない  4. そう思わない  5. まったくそう思わない

Q07: 教員は学生とのコミュニケーション(口頭やインターネット上で質問を要する、ディスカッションの機会を設ける等)に配慮していた (必須)

1. とてもそう思う  2. そう思う  3. どちらともいえない  4. そう思わない  5. まったくそう思わない

Q08: あなたがこの授業の予習・復習に当てた平均時間(1週間あたり)は? (必須)

1. 全くしない  2. 30分未満  3. 30分~1時間未満  4. 1時間~2時間未満  5. 2時間~3時間未満  6. 3時間以上

Q09: この授業において、シラバスで設定された「知識を取り込む力」(幅広い教養とモラル(倫理)や、異学科の基礎となる専門的知識・技能)を修得できた (必須)

1. とてもそう思う  2. そう思う  3. そう思わない  4. まったくそう思わない

Q10: この授業において、シラバスで設定された「問題発見・解決力」(さまざまな問題を発見、分析し、論理的に思考して解決できる力)を修得できた (必須)

1. とてもそう思う  2. そう思う  3. そう思わない  4. まったくそう思わない

Q11: この授業において、シラバスで設定された「コミュニケーション力」(他者の意見に耳を傾け、自分の考えを文章にまとめたり、口頭で発表する力)を修得できた (必須)

1. とてもそう思う  2. そう思う  3. そう思わない  4. まったくそう思わない

Q12: この授業において、シラバスで設定された「社会貢献力」(社会への貢献を志し、自派市民、将来の自派ビジネスパーソンとして行動する力)を修得できた (必須)

1. とてもそう思う  2. そう思う  3. そう思わない  4. まったくそう思わない

Q13: この授業において、シラバスで設定された「コラボレーション力」(主体的に行動し他者と協働するコラボレーション力)を修得できた (必須)

1. とてもそう思う  2. そう思う  3. そう思わない  4. まったくそう思わない

Q14: この授業において、シラバスで設定された「専門的知識・技能の活用能力」(専門的知識・技能を活用する力)を修得できた (必須)

1. とてもそう思う  2. そう思う  3. そう思わない  4. まったくそう思わない

Q15: 総合的に判断して、この授業に満足している (必須)

1. とてもそう思う  2. そう思う  3. どちらともいえない  4. そう思わない  5. まったくそう思わない

Q16: この授業に対して、良かった点や改善すべき点などがあれば、入力してください。(200文字以内)

ご協力ありがとうございます。右下の「回答」ボタンを押せば完了です。

[回答](#)

## 2. 調査結果

### (1) 実施率と回答率

2020年度春学期の調査実施率は、97.0%、回答率は56.4%であった。参考として、調査初回の2014年度からの調査実施率（開講授業数、実施授業数含む）と回答率（総履修者数、回答者数含む）の推移を表1及び図1に示す

表1 調査実施率・回答率の推移

	開講授業数	実施授業数	実施率	総履修者数	回答者数	回答率
2014年度秋	343	202	58.9%	11,027	2,647	24.0%
2015年度春	353	220	62.3%	12,309	4,016	32.6%
2015年度秋	329	191	58.1%	10,640	2,157	20.3%
2016年度春	364	245	67.3%	12,985	6,240	48.1%
2016年度秋	345	239	69.3%	11,375	5,528	48.6%
2017年度春	385	372	96.6%	13,522	7,848	58.0%
2017年度秋	389	360	92.5%	11,885	6,044	50.9%
2018年度春	363	358	98.6%	13,569	7,679	56.6%
2018年度秋	362	350	96.7%	12,174	5,901	48.5%
2019年度春	366	355	97.0%	13,749	7,749	56.4%
2020年度春	362	359	99.2%	13,568	9,124	67.2%



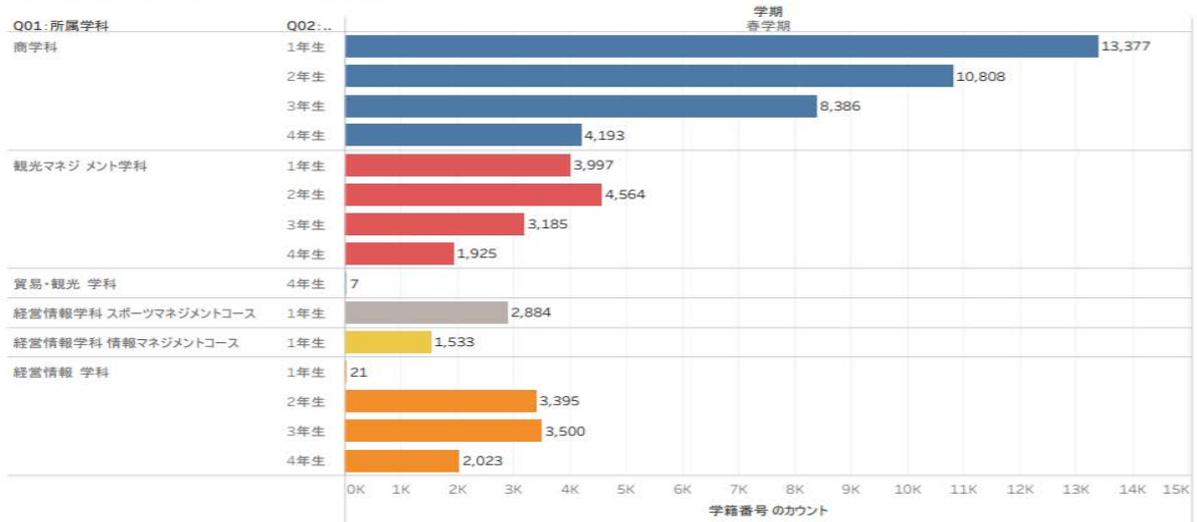
図1 調査実施率・回答率の推移

### (2) 各設問の結果

次頁から設問1～17の結果の概要を示す。

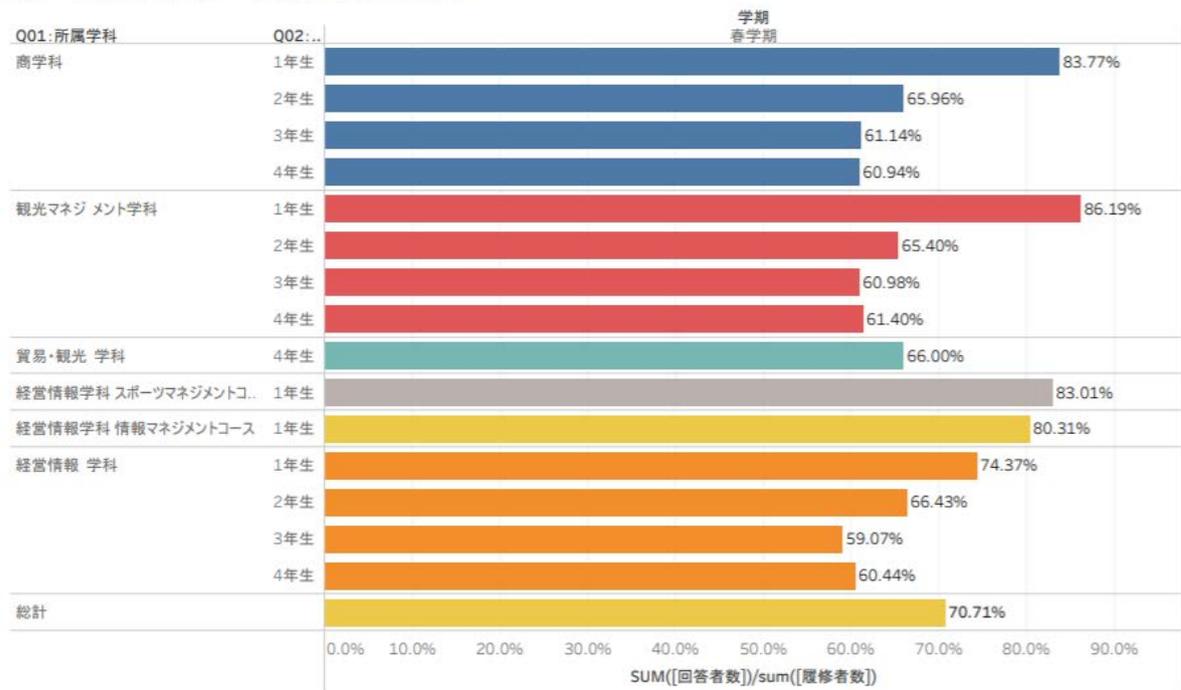
### III. 質問項目別グラフ (学科学年別単純集計)

Q01:所属学科・Q02:在籍学年別 延べ回答者数



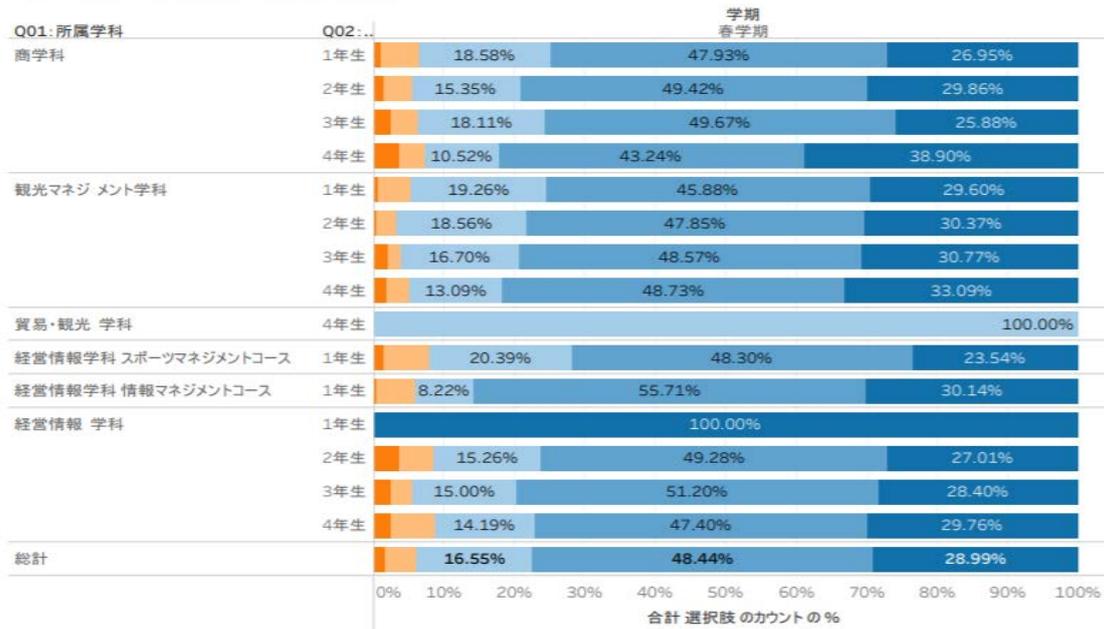
- Q01:所属学科
- 商学科
  - 観光マネジメント学科
  - 貿易・観光 学科
  - 経営情報学科 スポーツマネジメントコース
  - 経営情報学科 情報マネジメントコース
  - 経営情報 学科

Q01:所属学科・Q02:在籍学年別 回答率



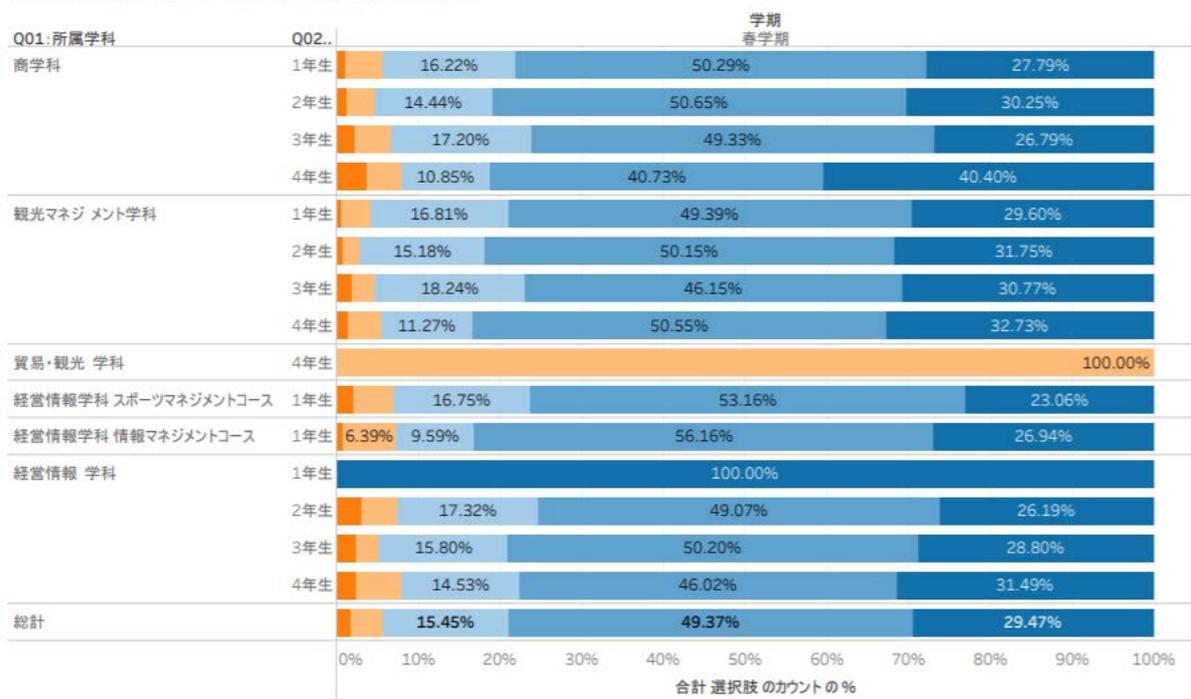
- Q01:所属学科
- 商学科
  - 観光マネジメント学科
  - 貿易・観光 学科
  - 経営情報学科 スポーツマネジメントコース
  - 経営情報学科 情報マネジメントコース
  - 経営情報 学科
  - 総計

### Q03: この授業の難易度は適切だ



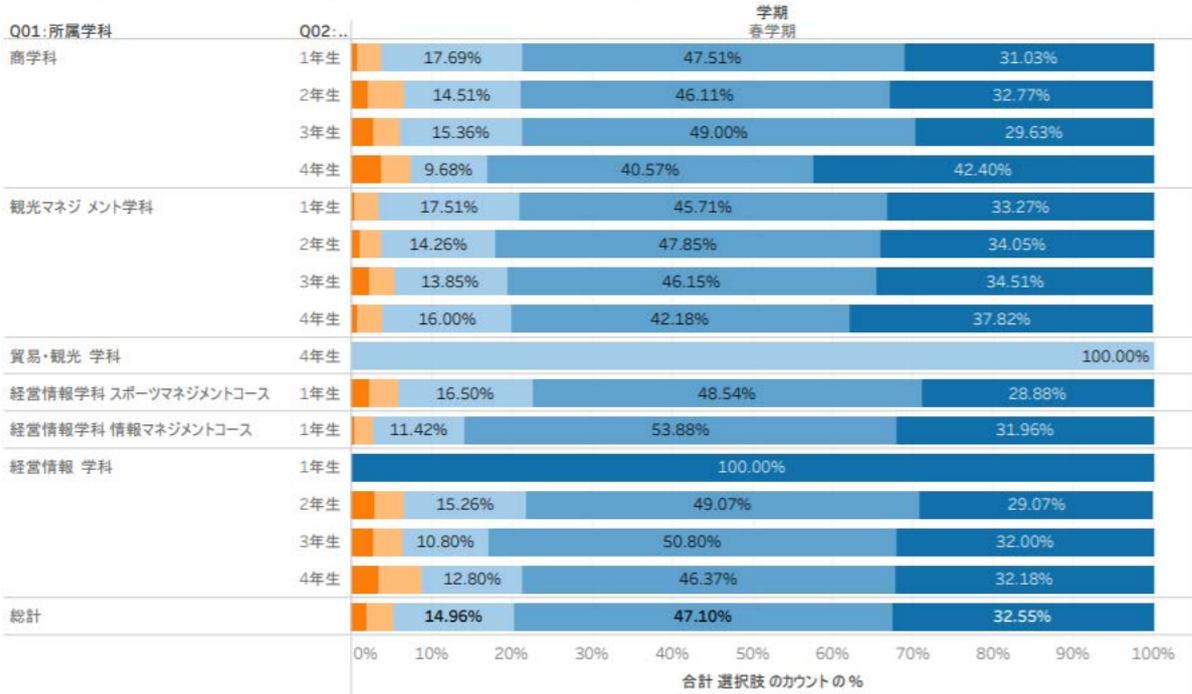
- 選択肢
- とてもそう思う
  - そう思う
  - どちらともいえない
  - そう思わない
  - まったくそう思わない

### Q04: この授業の学習内容の分量は適切だ



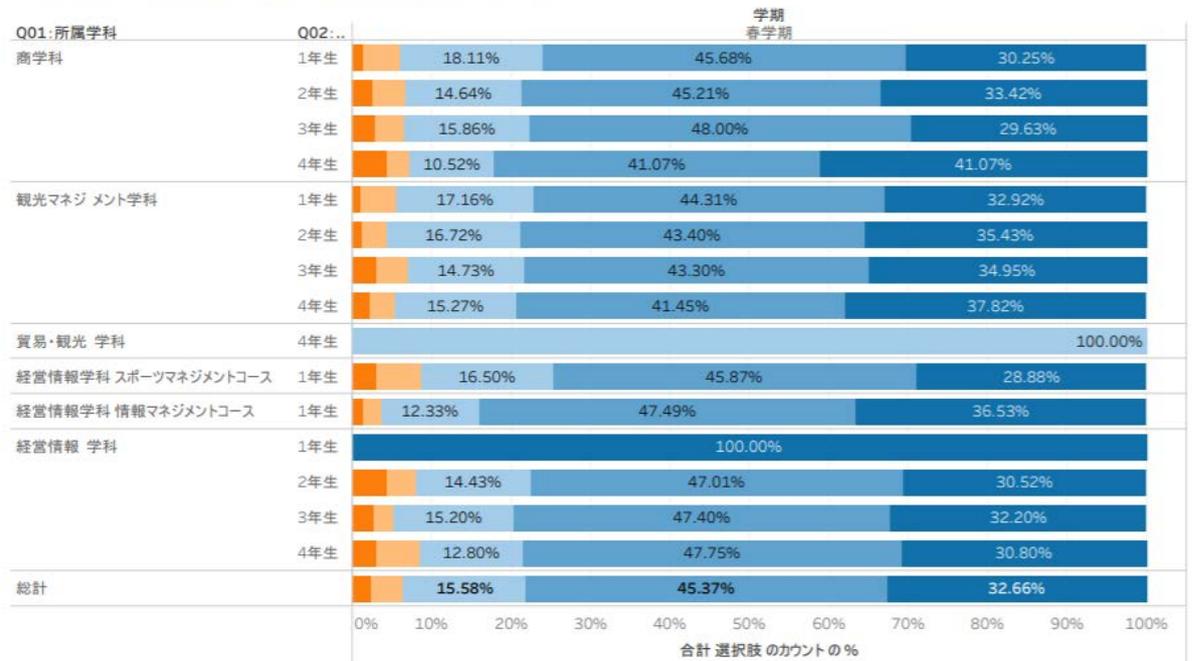
- 選択肢
- とてもそう思う
  - そう思う
  - どちらともいえない
  - そう思わない
  - まったくそう思わない

Q05:教員は学生の理解を深めるための配慮・工夫をしていた



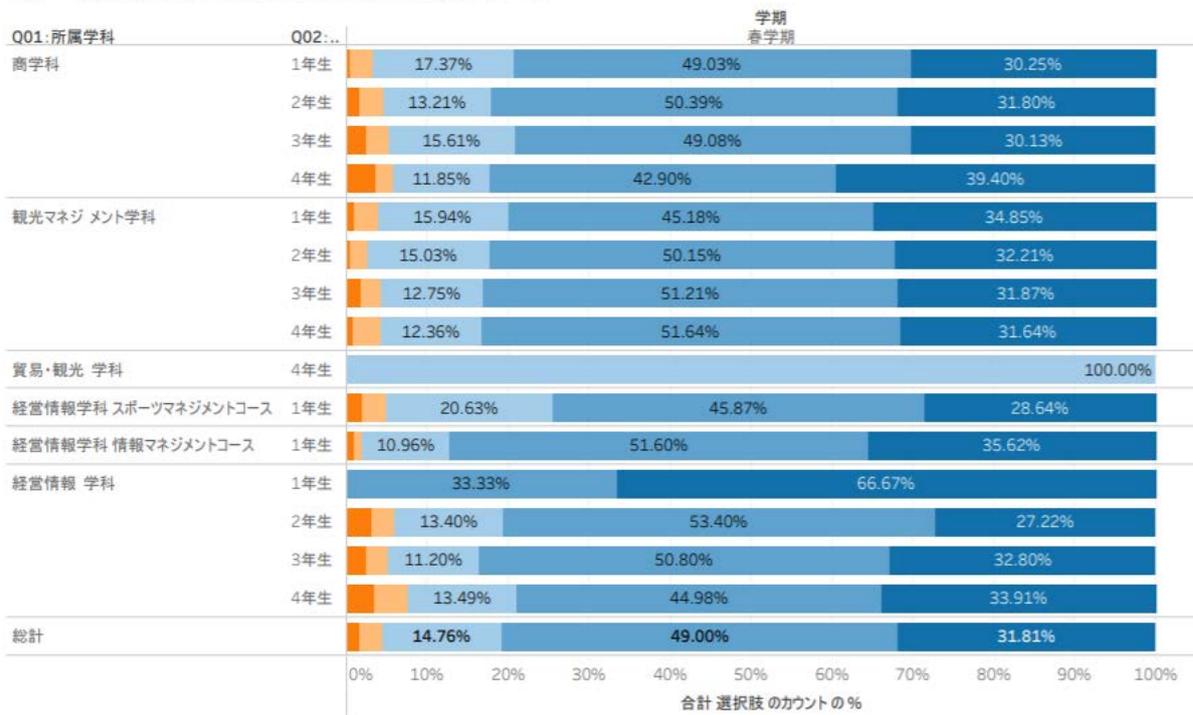
- 選択肢
- とても思う
  - そう思う
  - どちらともいえない
  - そう思わない
  - まったく思わない

Q06:教員の話し方・説明の仕方は分かりやすかった



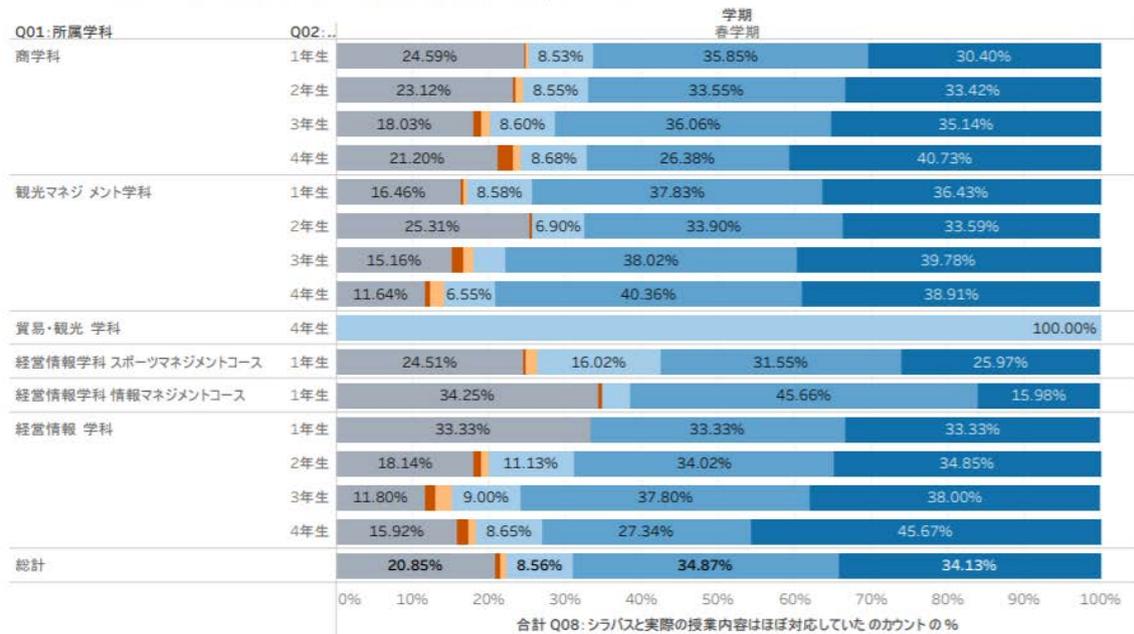
- 選択肢
- とても思う
  - そう思う
  - どちらともいえない
  - そう思わない
  - まったく思わない

### Q07:教科書や配布資料等は理解の助けになった



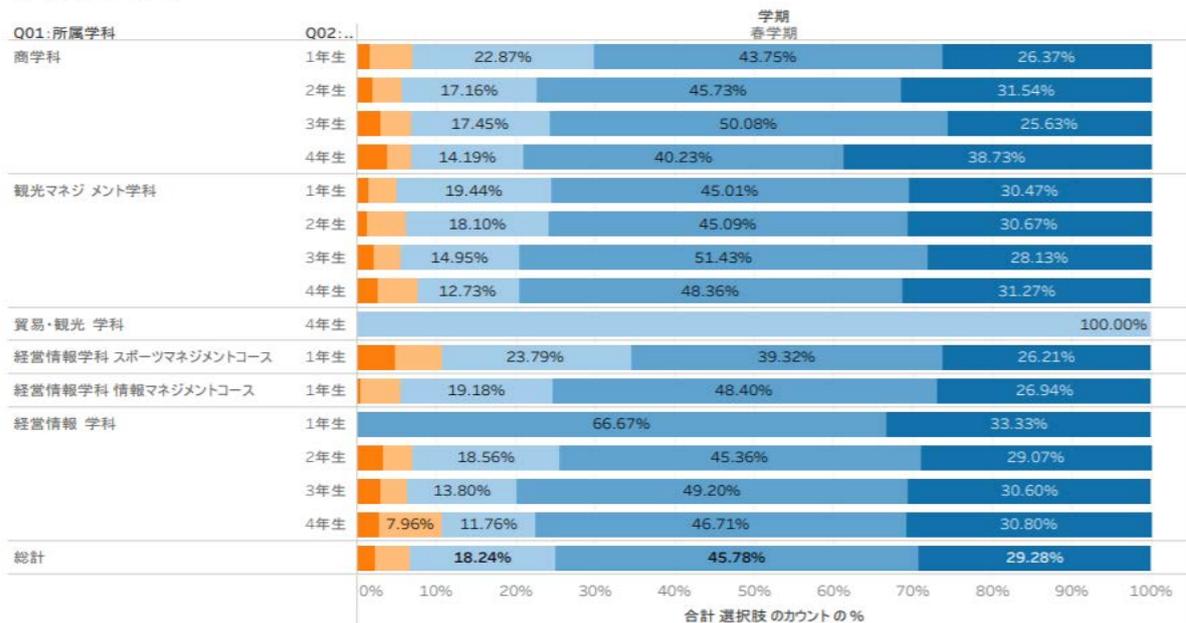
- 選択肢
- とても思う
  - そう思う
  - どちらともいえない
  - そう思わない
  - まったく思わない

### Q08:シラバスと実際の授業内容はほぼ対応していた(学年別)



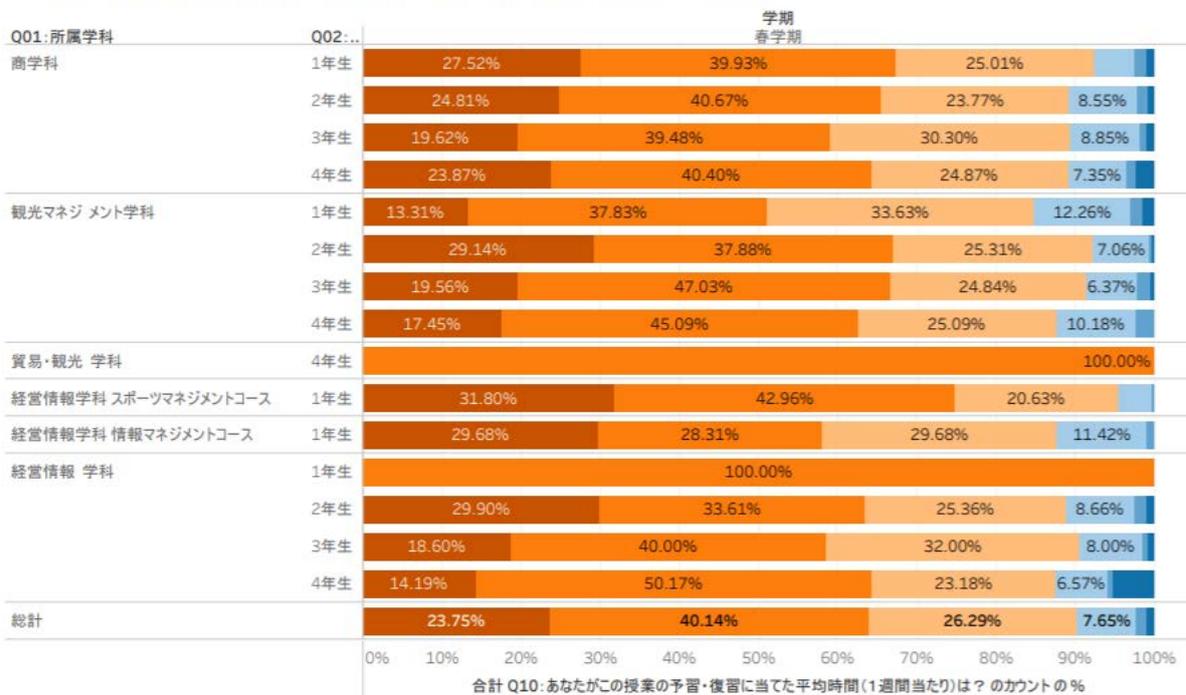
- Q08:シラバスと実際の授業内容はほぼ対応していた
- とても思う
  - そう思う
  - どちらともいえない
  - そう思わない
  - まったく思わない
  - シラバスは読まなかった

Q09: 教員は学生とのコミュニケーション(口頭やインターネット上で質問を受ける、ディスカッションの機会を設ける等)に配慮していた



- 選択肢
- とても思う
  - そう思う
  - どちらともいえない
  - そう思わない
  - まったく思わない

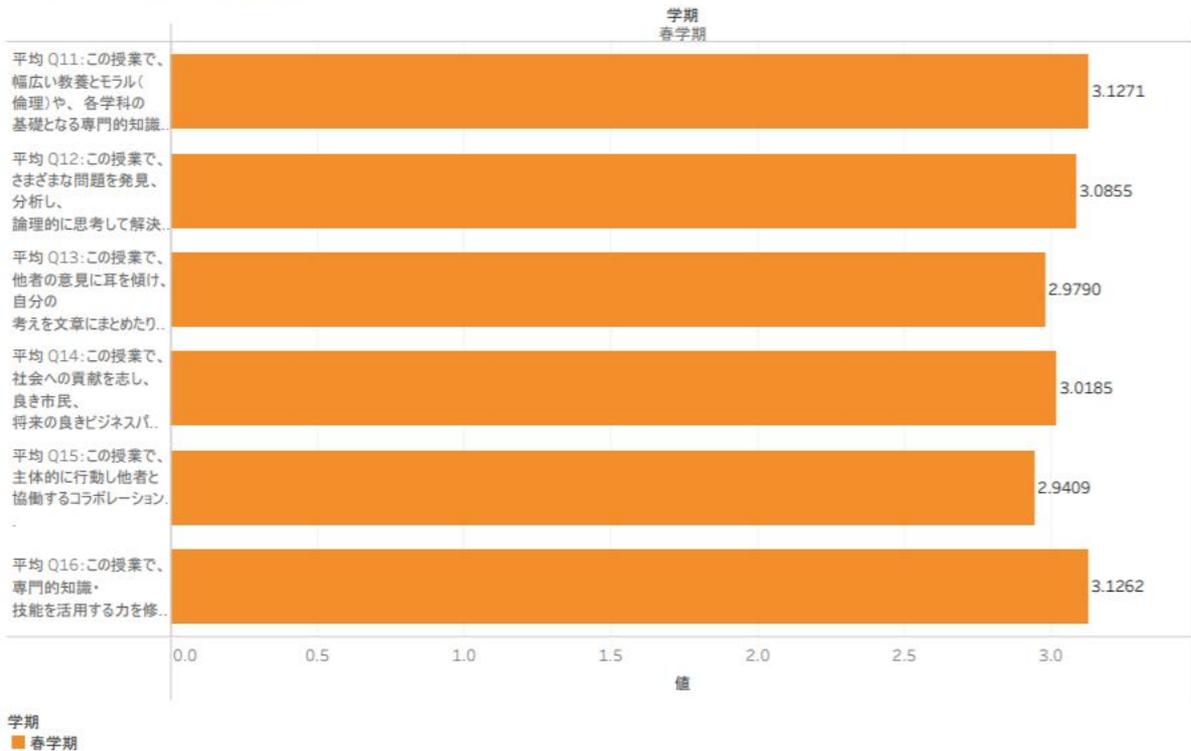
Q10: あなたがこの授業の予習・復習に当てた平均時間(1週間あたり)は?



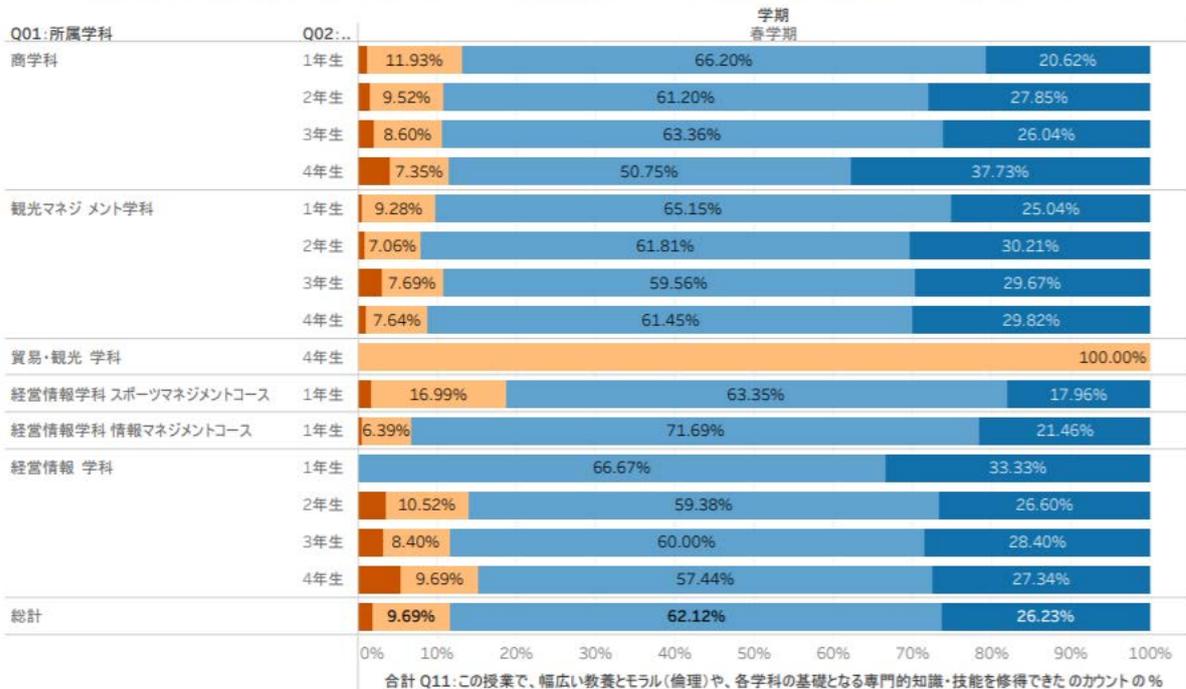
Q10: あなたがこの授業の予習・復習に当てた平均時間(1週間あたり)は?

- 3時間以上
- 2時間～3時間未満
- 1時間～2時間未満
- 30分～1時間未満
- 30分未満
- 全くしなかった

Q11-Q16: デイプロマ・ポリシー



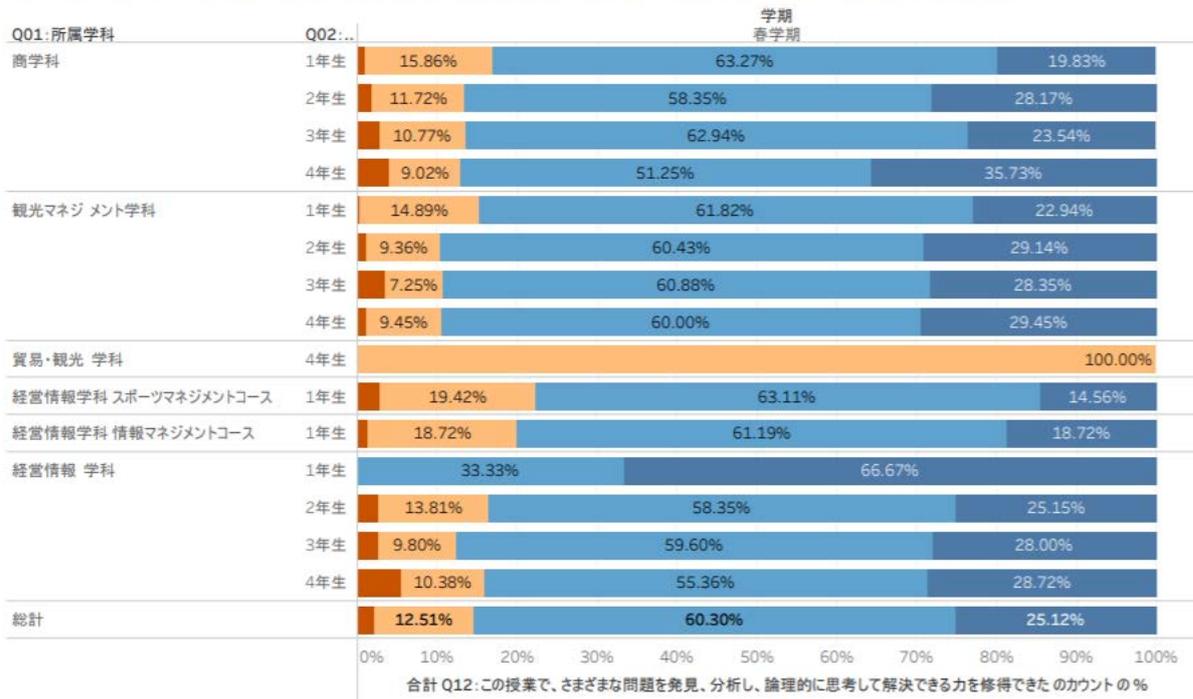
Q11:この授業で、幅広い教養とモラル(倫理)や、各学科の基礎となる専門的知識・技能を修得できた



Q11:この授業で、幅広い教養とモラル(倫理)や、各学科の基礎となる専門的知識・技能を修得できた

- とても思う
- 思う
- そう思わない
- まったくそう思わない

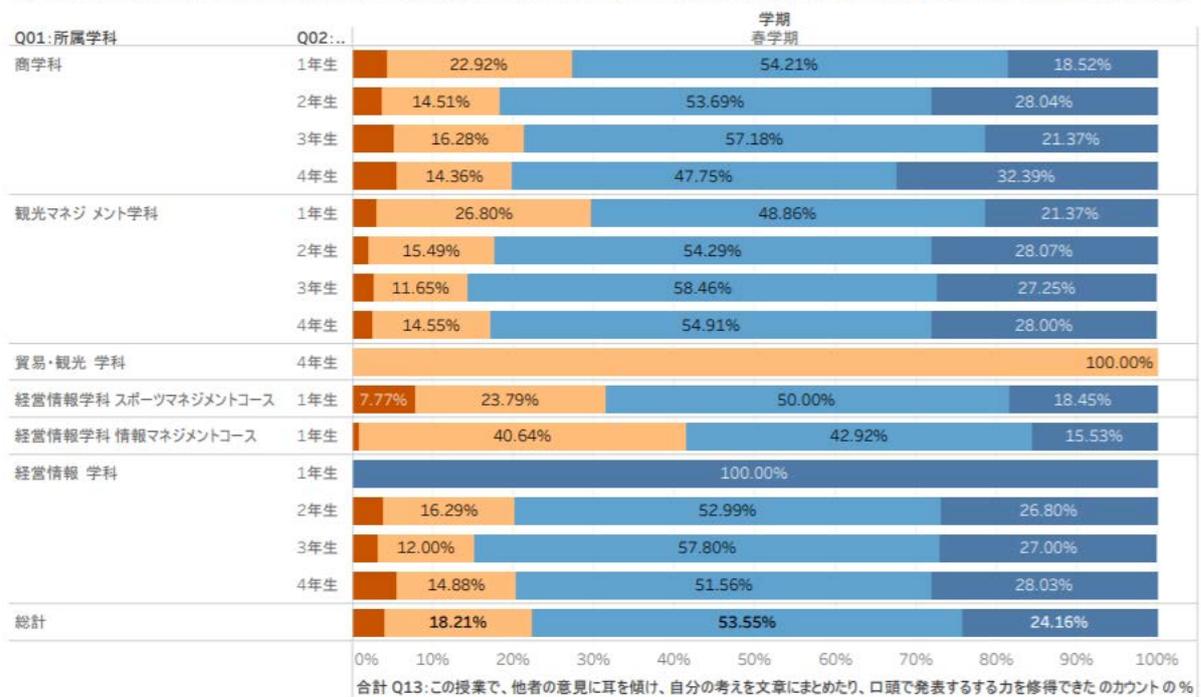
Q12:この授業で、さまざまな問題を発見、分析し、論理的に思考して解決できる力を修得できた



Q12:この授業で、さまざまな問題を発見、分析し、論理的に思考して解決できる力を修得できた

- とてもそう思う
- そう思う
- そう思わない
- まったくそう思わない

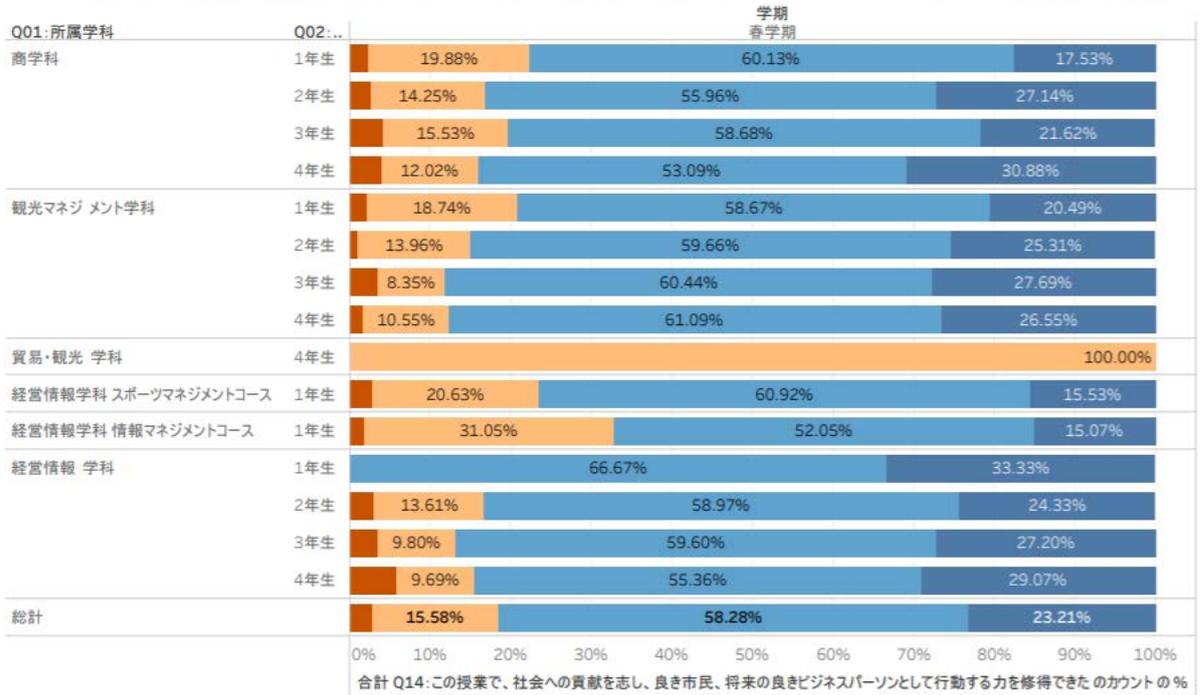
Q13:この授業で、他者の意見に耳を傾け、自分の考えを文章にまとめたり、口頭で発表する力を修得できた



Q13:この授業で、他者の意見に耳を傾け、自分の考えを文章にまとめたり、口頭で発表する力を修得できた

- とてもそう思う
- そう思う
- そう思わない
- まったくそう思わない

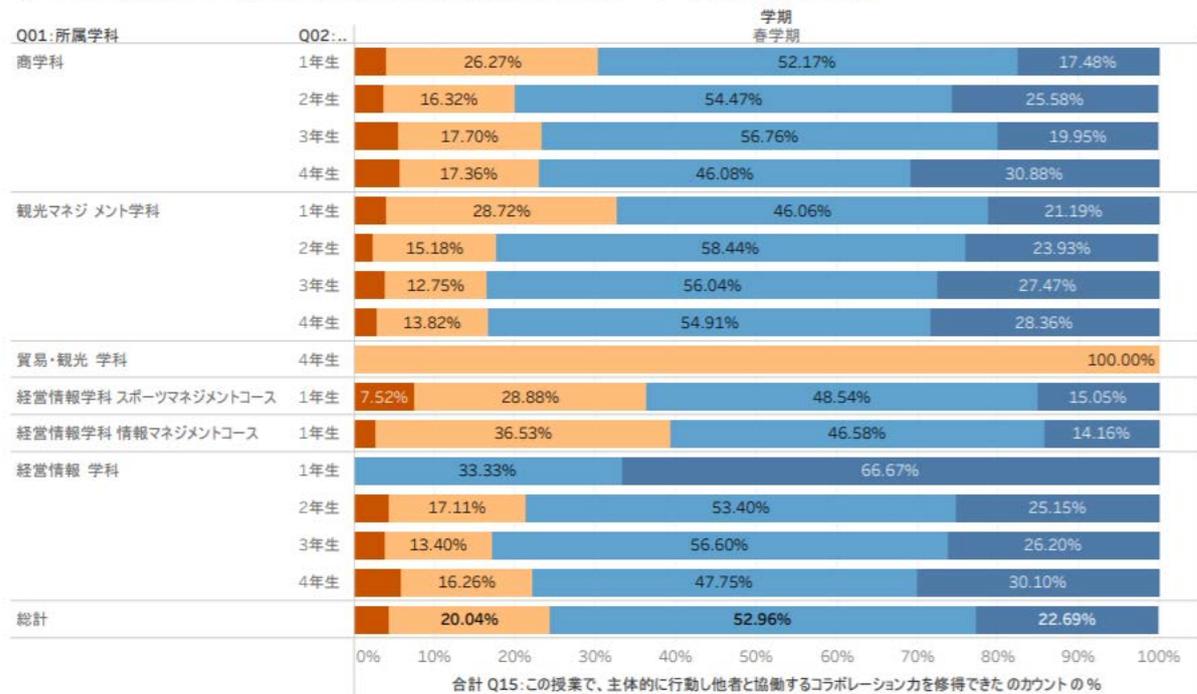
Q14:この授業で、社会への貢献を志し、良き市民、将来の良きビジネスパーソンとして行動する力を修得できた



Q14:この授業で、社会への貢献を志し、良き市民、将来の良きビジネスパーソンとして行動する力を修得できた

- とても思う
- そう思う
- そう思わない
- まったく思わない

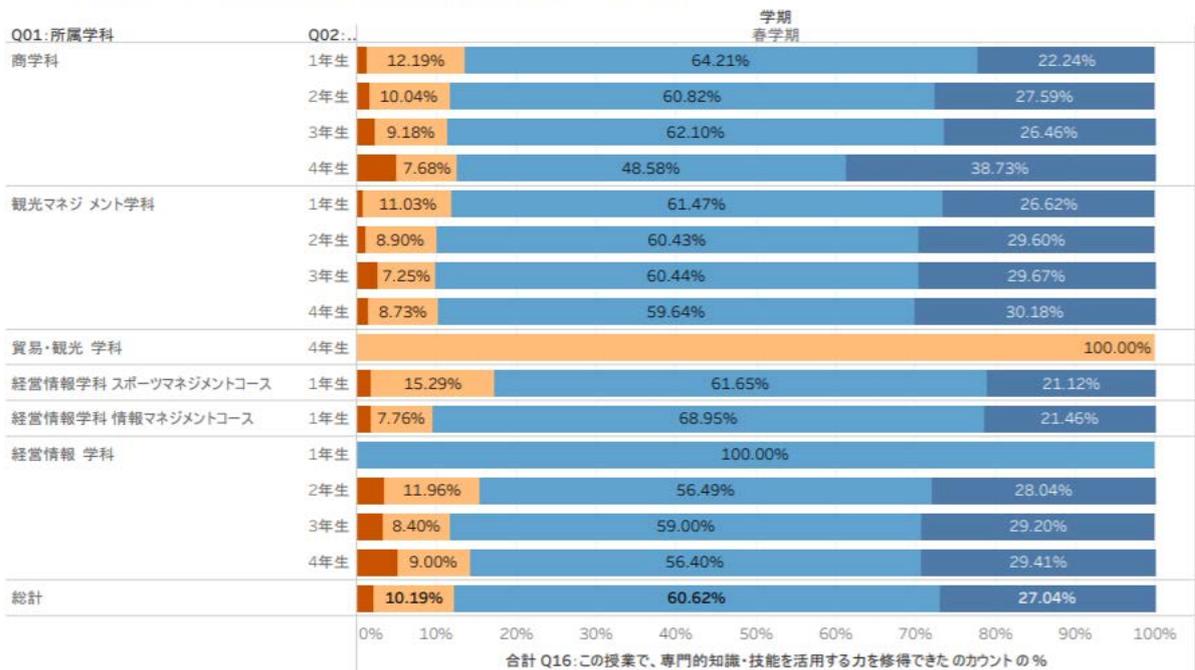
Q15:この授業で、主体的に行動し他者と協働するコラボレーション力を修得できた



Q15:この授業で、主体的に行動し他者と協働するコラボレーション力を修得できた

- とても思う
- そう思う
- そう思わない
- まったく思わない

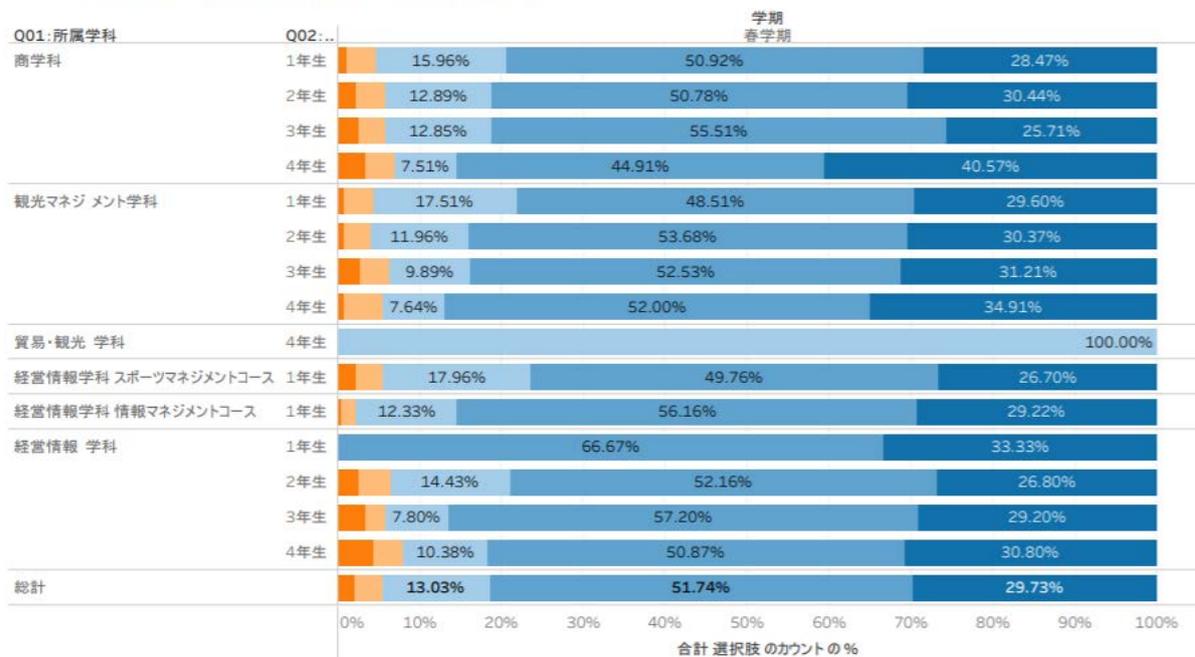
Q16:この授業で、専門的知識・技能を活用する力を修得できた



Q16:この授業で、専門的知識・技能を活用する力を修得できた

- とてもそう思う
- そう思う
- そう思わない
- まったくそう思わない

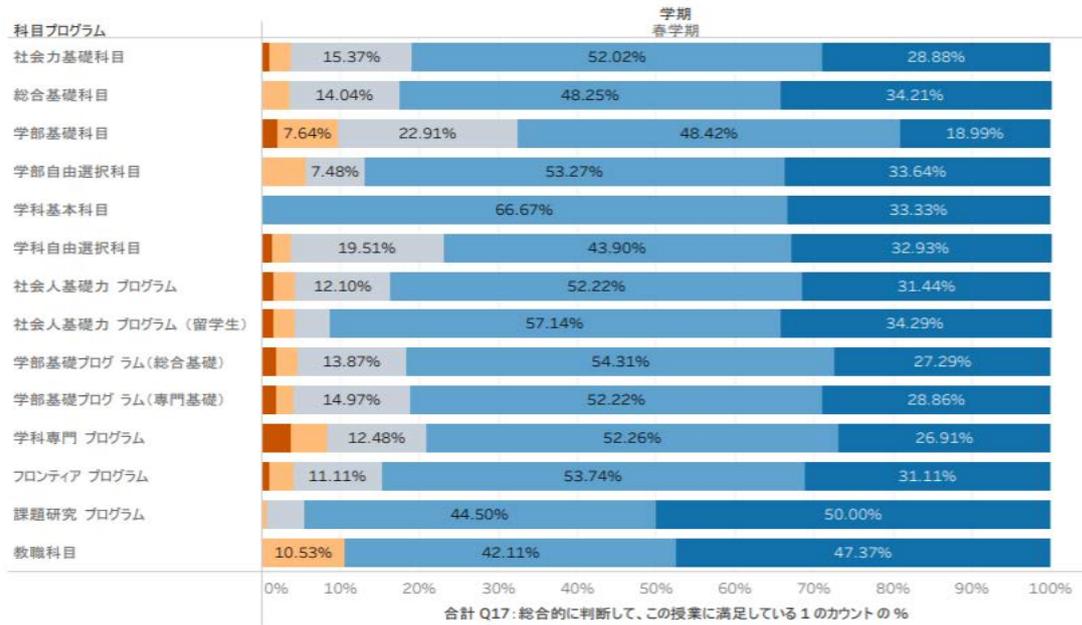
Q17:総合的に判断して、この授業に満足している



選択肢

- とてもそう思う
- そう思う
- どちらともいえない
- そう思わない
- まったくそう思わない

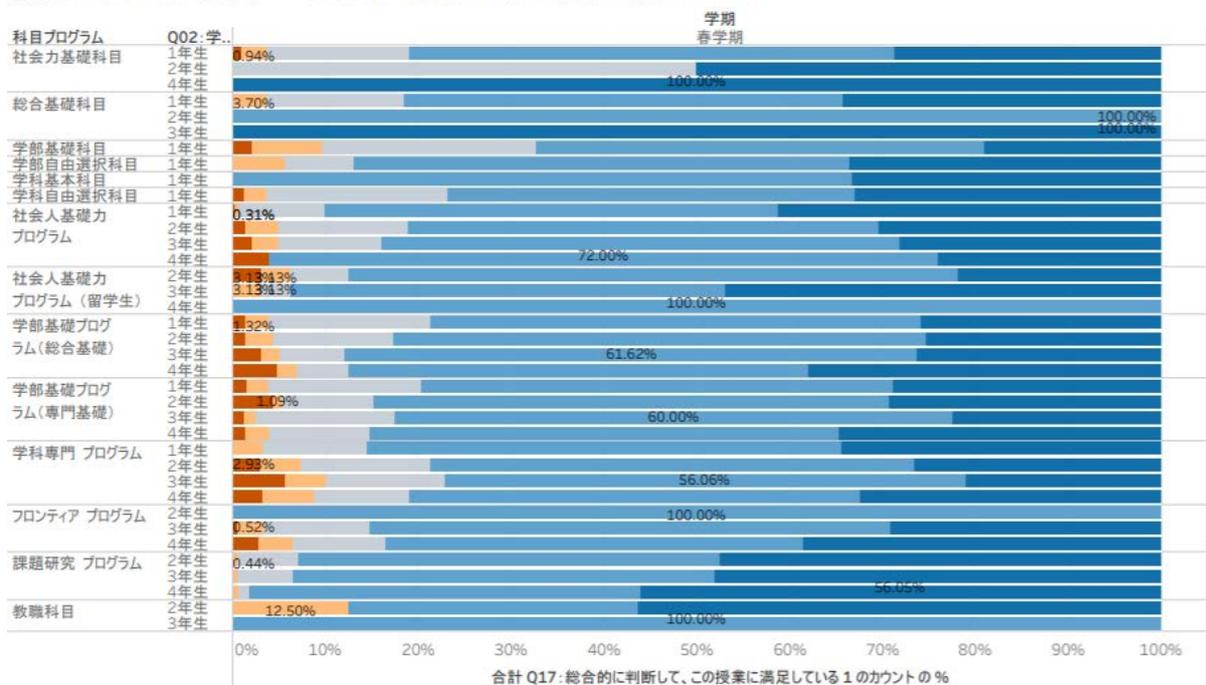
### 科目プログラム別Q17:総合的に判断して、この授業に満足している



Q17:総合的に判断して、この授業に満足している1

- とても思う
- そう思う
- どちらともいえない
- そう思わない
- まったく思わない

### 科目プログラム学年別Q17:総合的に判断して、この授業に満足している

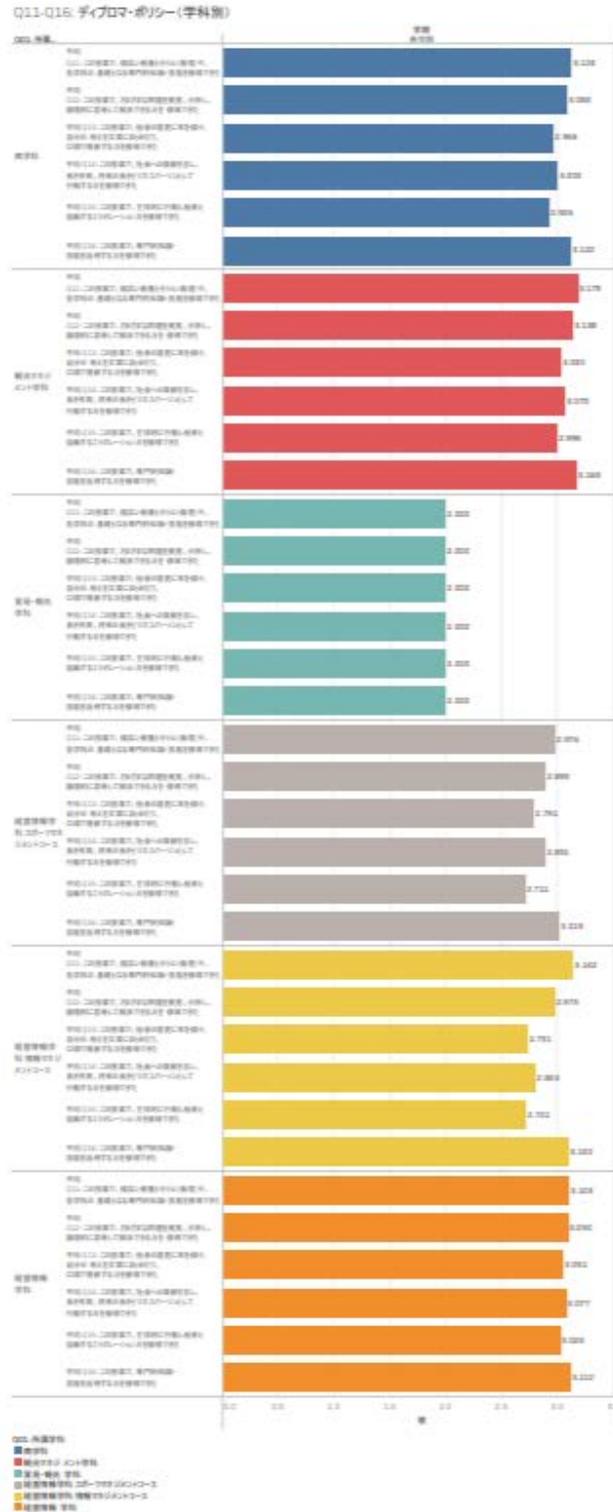


Q17:総合的に判断して、この授業に満足している1

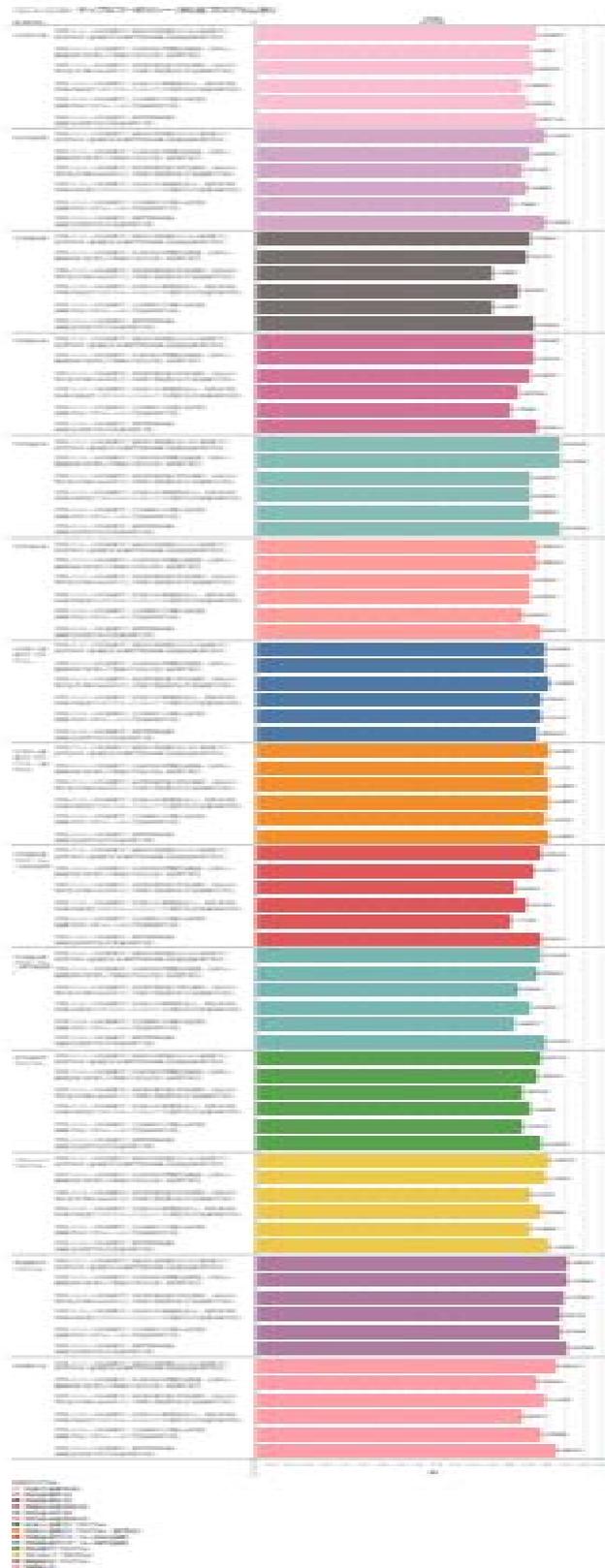
- とても思う
- そう思う
- どちらともいえない
- そう思わない
- まったく思わない

# IV. 分析別グラフ

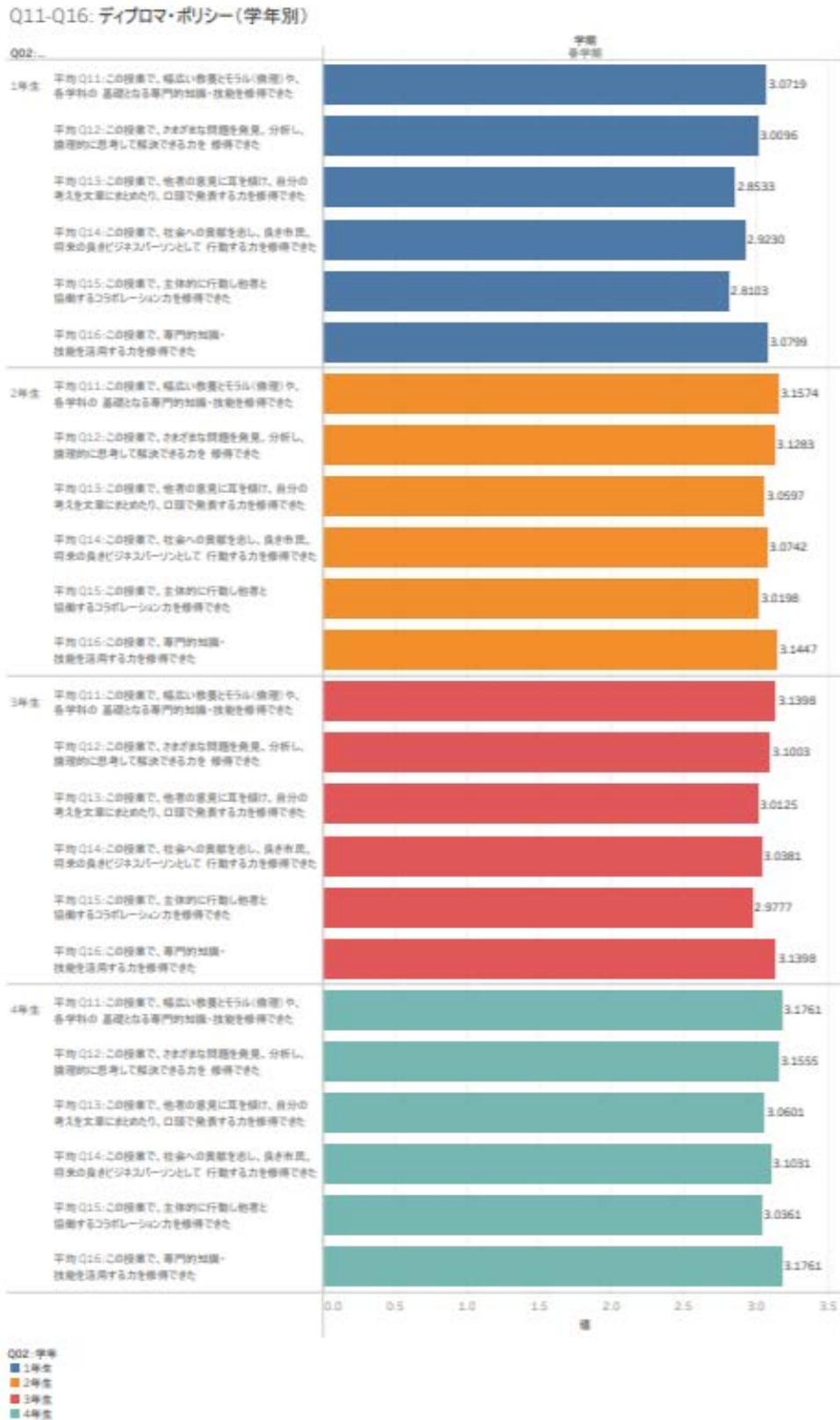
## 1. 設問 11~16: ディプロマ・ポリシー (学科別)



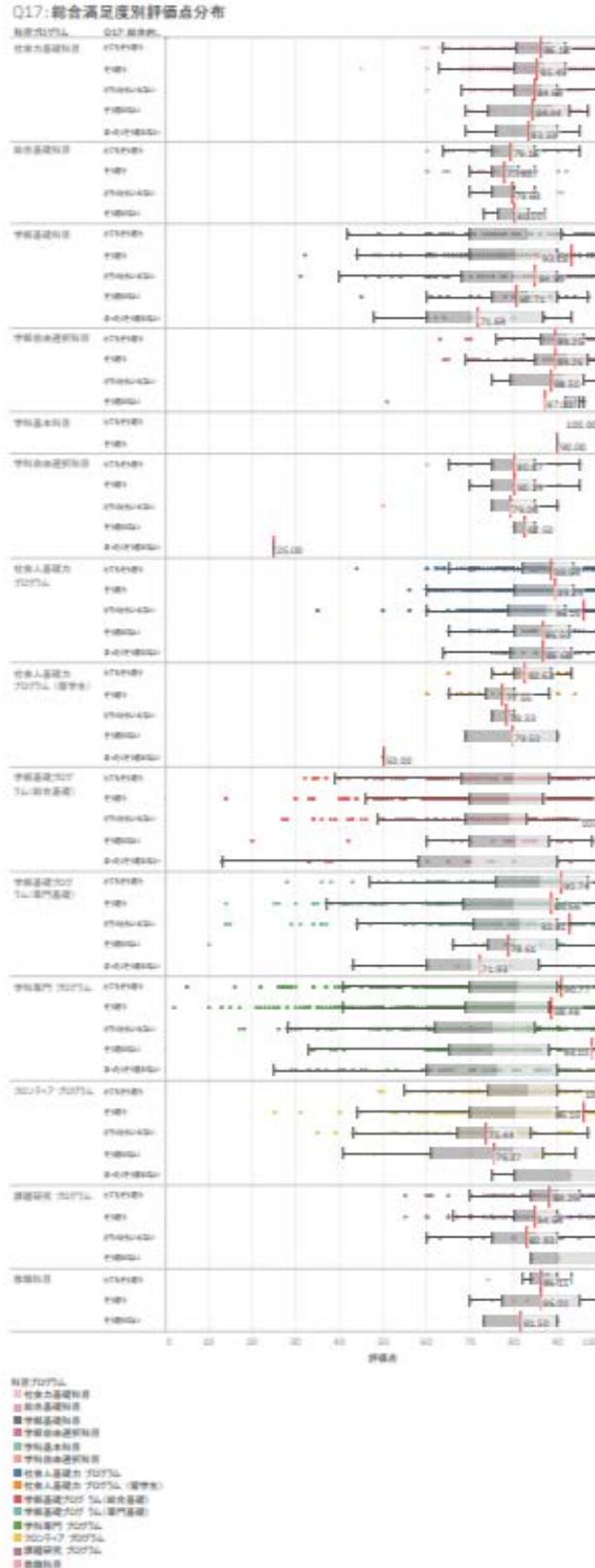
2. 設問 11～16：ディプロマ・ポリシー（科目プログラム別）



### 3. 設問 11～16：ディプロマ・ポリシー（学年別）

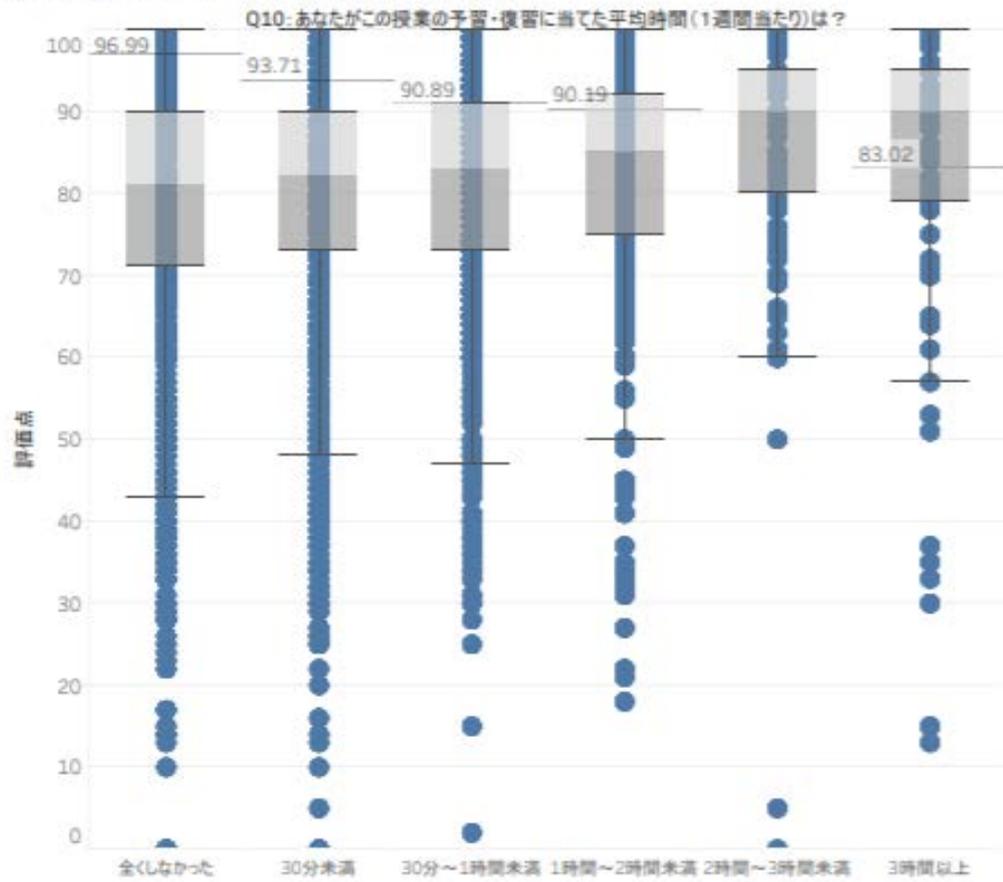


4. 設問 17：総合満足度別評価点分布（春学期）



5. 設問 10：授業外学習時間別評価点分布（春学期）

Q10: 授業外学習時間別評価点分布





学生による授業評価  
授業評価アンケート報告書  
－2020(令和2)年度春学期調査－

2020(令和2)年9月発行

編集 横浜商科大学管理本部 IR・情報メディア部 IR 課

発行所 〒230-8577

神奈川県横浜市鶴見区東寺尾 4-11-1

横浜商科大学 IR 委員会

横浜商科大学学務本部

電話 045-571-3901(代)

mail [ir-office@shodai.ac.jp](mailto:ir-office@shodai.ac.jp)

無断で複写・転載することを禁じます。